

建築業界において、地球環境を尊重する企業を目指す！

丸山 晃司 (まるやま こうじ/株式会社 OKUTA 取締役専務)

OKUTAの取組み

株式会社 OKUTA は、埼玉県さいたま市に本社を置く創業 28 年の住宅リフォーム会社です。東京・神奈川・埼玉・千葉に 14 店舗「LOHAS studio (ロハススタジオ)」を展開する他、修理修繕や水回り工事を中心とした「Handyman(ハンディマン)」、その他、新築、不動産事業、建材事業を行っています。また、有料会員サービスの「OKUTA LOHAS CLUB」は会員数 15,000 世帯を誇り、住まいと暮らしをトータルでサポートしています。

業界初の環境宣言「脱・塩ビ宣言」

弊社では、2002 年に人と環境に優しい家づくりをすることを決断し、代表である奥田を中心とした執行役員によって、「OKUTA Family は、誠実なる社員と、理解ある顧客と、健全なる取引先との最高の信頼関係を構築し、持続可能な経営をおこない、地球環境の原則を尊重する事業を目指す！」という Mission Statement を制定し、リフォーム業界初の「脱・塩ビ (塩化ビニルクロロス)」を宣言。それ以降、建材や断熱材など、徹底して自然素材にこだわっています。

害だらけの住宅について

弊社が環境宣言で脱塩化ビニルクロスを提唱し、無添加リフォームブランドを掲げたのは、現状の日本の住宅は調査すれば調査するほど『害』だらけの住宅だという事が分かったからでした。

平成 15 年 7 月から建築基準法上で施行されたシックハウス法案では、防腐剤として様々な建材に使用されているホルムアルデ

ヒドの規制とシロアリ駆除剤として使用されていたクロルピリホスの禁止が施行されました。しかし、環境や健康に被害を及ぼす化学物質は、その他でも数多く建材に含有されたまま使用され続けているのが現状です。新築を建てたものの、入居した途端に体調を崩したり原因不明のアレルギーが出始めたという話は、業界内では良く耳にします。

この対策として、建築基準法上のシックハウス対策法では、室内の CO₂ や揮発性有機化合物の排出のために 24 時間換気が義務付けられています。

私たちは、有害な化学物質が含まれている建材を使用して毒ガスに満ちた部屋に住み、省エネが叫ばれている昨今において、24 時間中電気を使って部屋中の空気を入れ替え続けなくてはいけないような住宅を建てることに対して警鐘をならしていき、安全な建材を使用し、環境と健康にやさしい住宅を建てることを推奨しています。

塩化ビニルクロスの害について

塩化ビニルクロスは、充填剤、発泡剤、可塑剤などの有害化学物質が長い年月をかけて揮発し続けるだけでなく、温暖湿潤気候である日本においては室内をビニールで覆う事で表面結露によってカビが発生し、その事を起因として、シックハウスの被害なども起こります。

元々日本の住宅は土壁で、壁全体で呼吸・調湿が出来ていました。しかし、塩化ビニルクロスが使用された現代住宅の壁では、夏場などの多湿な時期でも調湿できないため、エアコンなどの機械の力を借りなくて

経営者「環境力」大賞を受賞して

はなりません。また、万が一の火災の際には室内空間が黒い煙で充満し、あっという間に毒ガス室に変わってしまい、出口まで呼吸が持たずに煙死してしまいます。

この様に、有害で調湿効果もなく不快で、万が一の火災の際にはとても危険である塩化ビニルクロスが住宅の内装材として最も多く使用され続けている理由は、安価で大量生産しやすく、施工が簡単でクレームがおきにくいいため、メーカーや施工業者側にとって都合が良いからです。

弊社では、現在の建築業界において当たり前の様に使用されている塩化ビニルクロスの使用を制限し、お客様に住宅建材のメリット・デメリットなどの真実をきちんとお伝えし、お客様にとって最適な建材を選択して頂けるよう努めています。

オリジナル建材の開発・製造

2002年の環境宣言に伴い、私たちは安心な建材を求め、大手メーカーなどに環境と健康に優しい有害な化学物質を含まない建材の提供を求めましたが、安全データシートなどを確認していく上で、なかなか思う様な建材に巡り合う事が出来なかった為、自社オリジナル建材の開発・製造を始めました。現在では、無垢床・無垢建具・自然素材100%のEM珪藻土、地元の新聞古紙を使用した断熱材・自然塗料ロハスオイルなど、多くの建材を自社開発しています。

OKUTAの環境貢献活動について

OKUTAは、「1% for the Planet」に参加し、自社オリジナル建材の売上の1%を環境保全団体に寄付し、様々な活動を支援しております。

埼玉県秩父郡皆野町の森では、全社員が間伐体験をし、木の育成について学びま

した。現在は、オリジナル建材「LOHAS material」シリーズの売上の1%を、埼玉県比企郡小川町下里地区の里山保全活動や海岸清掃などを中心に活動しているNPOなどに毎年寄付しています。

今後の環境貢献活動について

先にも述べたとおり、弊社では2002年に「無添加リフォーム」というスペックブランドを掲げ、現在では「LOHAS studio」という屋号で環境と健康にやさしい住宅リフォームを推進しています。

また、弊社オリジナル建材シリーズである「LOHAS material」では、①有害な化学物質を含まない②建材の製造時から、環境負荷を最小限にする③処分時に土に還る素材である④安全な建材を安価な価格帯で普及させシックハウスを減少させる⑤大手メーカーが出来ないこと（やらないこと）に挑戦していく、という開発コンセプトを掲げております。また、近年では、passiv materialシリーズの販売を開始し、世界水準の家づくりを目指していく事を目的とし、日本国内でまだまだ普及できていない世界基準の建材を自社商流にて、日本市場に出していき、環境不可の少ない住宅づくりに貢献していきたいと考えております。

建築業界の一中小企業が出来事は限られておりますが、今後も、環境を意識した住宅づくりを推進し、広めていきたいと考えております。

